

糖尿病対策事業のご案内

京成健保では、8月より糖尿病対策の新しい取り組み「糖尿病相談サービス」「受診勧奨サービス」を開始しました。以下に糖尿病と事業概要についてご案内をさせていただきます。

日本人は欧米人に比べインスリン分泌能力が弱いといわれています。過食を続けると、太っていない方も糖尿病になるリスクがあります。

ワンポイント知識

今のおからだの状態は？

健診結果をみてみましょう

	正常範囲	要注意	糖尿病型
空腹時血糖 (mg/dl)	~109	110~125	126~
HbA1c (%・NGSP値)	~5.5	5.6~6.4	6.5~
下段はJDS値	~5.1	5.2~6.0	6.1~

※平成25年度からは、NGSP値で表示されます。 ※「糖尿病型」はすでに糖尿病になっている可能性が高い状態です。 出典：日本糖尿病学会編「糖尿病治療ガイド2010」 P18-19 診断のための検査をもとに作成

知らずに進む合併症

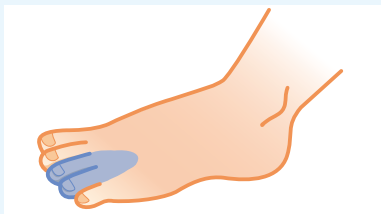
あなたのその血糖値、そのままにしておいて大丈夫？

高血糖の状態では細胞のエネルギー不足がおこるほか、細胞や血管が傷つきやすくなると考えられています。糖尿病の合併症は、**脳・目・呼吸器・心臓・腎臓・泌尿器・皮膚・神経・足**など、全身にわたり深刻な状況を招きますが、初期段階では自覚症状が無い場合、放置して重症化させている方が多いのが現状です。

糖尿病合併症の一例

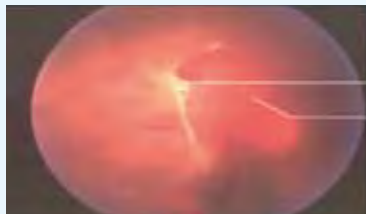
足壊疽

外傷以外の足切断原因の第1位



増殖網膜症

失明の原因の第2位



増殖膜
硝子体出血

人工透析

人工透析の原因の第1位



糖尿病の治療は糖尿病専門医へ

糖尿病専門医はこのような視点でみています

- ◆ガイドラインに準拠した治療
- ◆血糖値目標設定

- ◆合併症のチェック
- ◆チーム医療の実施

生活のリズムや本人の希望なども考慮し、無理なく治療が継続できるよう指導していきます。

● 糖尿病相談サービスの概要 ●

ティーベック糖尿病相談センターの専門スタッフ（保健師・看護師）が、糖尿病や合併症予防のための日常生活のアドバイスや、優秀糖尿病臨床医*・専門医療機関の紹介等をさせていただきます。

*「優秀糖尿病臨床医」とは、ティーベックの理念に賛同した評議員（教授・名誉教授）である医師が、「高いレベルの専門性を持つ医師である」と推薦する糖尿病専門医です。
※ご利用の際は京成電鉄健康保険組合の名称および保険証記号・番号・氏名・生年月日・性別等の個人情報が必要になります。また、利用者の個人情報（記号・番号・氏名・生年月日・性別）は、当健康保険組合へ提供されることを予めご了承ください。

専用電話番号

0120-24-8611

相談料・通話料は無料

受付時間

9:00-16:00
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)

● 受診勧奨サービス ●

特定健診の結果に基づき、健保組合から糖尿病の受診勧奨プログラムへの参加案内が届く場合がありますので、一度は糖尿病専門医に診察してもらいましょう。